

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

ニュース学童保育

全国部会総会、オンライン開催

52人の参加

全国学童保育部会の総会が、9月20～21日にオンラインによって開催されました。

コロナ禍の感染者が増加傾向になった時期と重なり、やむなくこうした

施策の改善が急務

形態の総会となりました。各支部より、52人が参加、学童保育指導員の組織拡大総がかりを取り組んでいる長崎県本部からも参加がありました。事務局長から「コロナ禍での保育で、困難な実

態が改めて浮き彫りになった。その中身こそ、私たちの要求内容。早急に改善すべき内容をまとめ、国に向けて提案していく。」と、情勢報告と方針提起がされました。

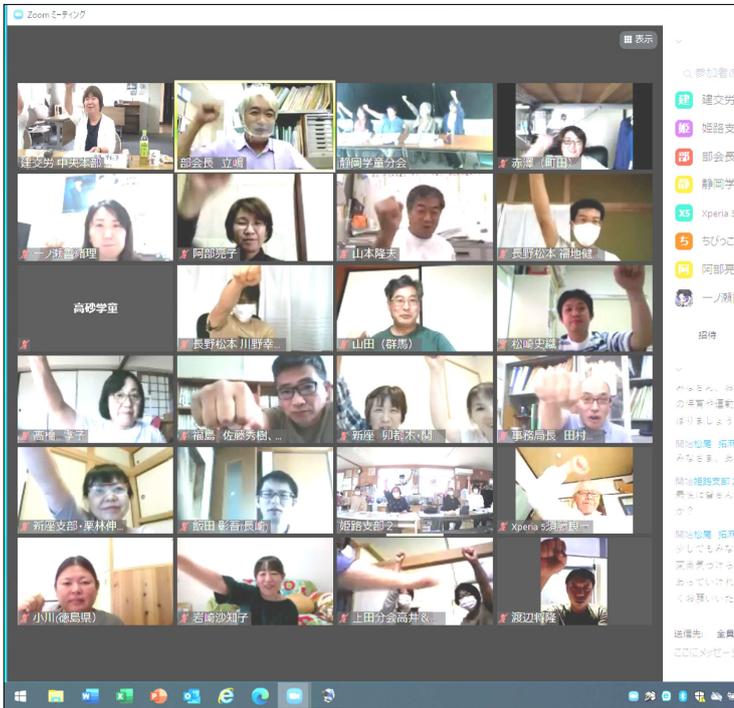
ど制度改善を図ってきた報告がありました。

また、通常の補助金が支給されていない川崎市でも、臨時の補助金は支給され、未組織の指導員から「組合は必要だね」という声が出ていること。

の保育に影響していることを確かめ、国の基準、制度を押し上げていくことを確認しました。



ZOOMのホストを勤めていただいた中央本部。川崎支部の仲間もここから参加しました。



総会の最後に、画面を通じて「団結ガンバロー」をおこない、各地での奮闘を誓い合いました。

要求して、20万円の手当

各地の報告では、コロナ禍の対応に対する臨時の補助金の活用で、函館や愛知、上田で、約20万円の手当を獲得した職場があったというところや、特別休暇が町田、新座で獲得できた、な

長崎県本部では、部会ニュースを活用して、行政へ予算化を訴え、補助金の獲得ができたことなども出されました。自治体の単独予算で、事業所向け、あるいは指導員に対する補助が出たところもありました。まとめでは、臨時の補助金は本来必要な補助金であること、施策の不備が子ども

「指定管理者制度に関する対策会議」事前申し込みを

上記の会議を10月18日（日）9時～12時、オンラインによって開催します。

参加する支部・分会は、事前のアンケート提出、参加者の連絡を事務局へお願いします。

間もなく、事務局のオンライン設定ができる予定です。